

脾癌の患者さんを対象とした 治験をおこなっています

治験（ちけん）とは？

薬の効果や副作用を調査し、研究することを「臨床試験」といいます。その中でも、国(厚生労働省)から「くすり」として認めてもらうために行われる試験のことを「治験」といいます。

治験にご参加いただける方の主な基準

- 満20歳以上の方
- 医師により脾癌であると診断され、また手術による治療が難しいと医師が判断した方
- 脾癌に対して、ゲムシタビンを使用した化学療法を行い、十分な効果が得られなかった方
- 次に行う化学療法として、nal-IRI/FL療法*を予定している方
*nal-IRI/FL 療法：フルオロウラシル+レボホリナートカルシウム+イリノテカン塩酸塩水和物
リポソーム製剤併用療法
- 脾癌の大きさが長径10mm以上の方
- 立って歩いたり、軽い作業などが可能な状態の方
- 経口で、食べたり飲んだりすることが可能な方
- 治験のための来院や、検査などの実施が可能な方
- 治験薬投与前の検査で、一定の基準を満たす方

※ この他にもいくつか基準があり、基準に合わない場合にはご参加頂けないこともございます。

募集期間

2026年4月まで

※ 予定よりも早く募集を
締め切る場合もございます。

お問い合わせ先

滋賀医科大学医学部附属病院 臨床研究開発センター
077-548-2477（平日9:00～17:00）

ご興味がある
方はお気軽に
お問い合わせ
下さい。

